

除排雪のお問い合わせはコールセンターへ
☎(888)9400 (午前8時~午後8時)

3月21日(日)オープン
秋田市文化創造館

もうすぐ誕生!

はつ出 じくり、い る場

あきた 広報

2~5

これからを

新春
市長コラム

「地方で、このまちで、
生きる」

6~7

3月オープン! 秋田市文化創造館

8~9

いよいよ出発進行! 泉外旭川駅

新春
市長コラム

日々「心」

秋田市長 穂積 志
もとむ



2021年—
時代の大きな転換点

これからを 「地方で、このまちで、生きる。」



明けましておめでとうございませす。新しい年の幕開けをいかがが過ごしてでしょうか。みなさまにとって、穏やかで、幸せな一年になることを心からお祈り申し上げます。

2021年の干支は丑(牛)です。歩みが遅い例えとして「牛歩」と言われますが、努力を怠らなければ大きな成果をあげることができるという意味で、「牛の歩みも千里」とも言われます。コロナ禍などで、思いどおりにはいかないこともありますが、それでも、牛の歩みの如く、ゆつくりと確実に、歩を進めてまいりたいと思います。

豊かな自然が育む秋田の「食」

昨年は、秋田米の新品種「サキホコレ」が大きな話題になりました。食味に徹底的にこだわって開発された最上位品種で、明るい未来を感じさせるネーミングも好印象。2022年度の本格デビューがとて待ち遠しく感じます。

「米の国秋田」の「米」をキーワードにブランド化されたのが「秋田牛」です。秋田の豊かな自然の中で、一定量の米を与えて育てることで、「やわらかく、多汁性があり、旨みが強く、脂の口溶けが良いおいしい」お肉になるのだそうです。

「秋田牛」をはじめ、お米やきりたんぽ、お菓子、工芸品など、コロナ禍で、売り上げが落ち込み、経営に大きな影響を受けている特産品などを販売する事業者を支援し、地元産品を全国にPR・販売するため、昨年11月、秋田市特産品ポータルサイト「あきたづくし」をオープンしました。

2月末までの開設期間中、300を超える商品が、通常の販売価格よりも2割以上安く、2千円以上購入の場合、送料も無料で購入できます。秋田の魅力がギュッと詰まった大変お得な機会です。市民のみならず、県内外のお知り合いのかたなどに、耳寄りな情報としてお伝えいただければ幸いです。また、贈り物として喜ばれるのはもちろん、ご自宅用としての購入もおすすすめです。きっと秋田の魅力が再発見できると思いますので、ぜひご利用ください。



「あきたづくし」のトップ画面

ポータルサイト あきたづくし 検索

コロナ禍にあって、まちを元気づける催しを開催

売り上げが減少した事業者などを支援するために開催した、「地元産品応援セール」(上の写真)と「秋のあきたグルメフェスタ」(下の写真)



2020年を振り返る

うれしいニュースもありました

大森山動物園でキリンの「ケイタ」誕生



夕日の絶景スポット！下浜サンセットロードが開通しました



チャレンジオフィスあきたが、中通に移転オープン



秋田駅西口駅前広場が完成。一年を通じ緑が映える天然芝の広場は、にぎわいの場にも

コロナ禍にあって、まちなかのお店を利用することが、地域貢献の一つになると改めて気づき、意識するようになったという声を聞きます。すべての消費を地元のお店、地元のもので賄うことは現実的ではないかもしれませんが、大切にしたいと思うお店や生産者などがあるとしたら、日常の中でほんの少し意識し、利用することで、私たちのまちに前向きな変化をもたらすことができるように思います。

あなたや私の、日々の行動が、私たちの暮らしを彩り、まちをかたちづくる。「新しい日常」の中で大切にしたい「気づき」だと感じています。

ピンチをチャンスに！ 日常の中にある 「心豊かな暮らし」

経済活動上の効率性や合理性などから、これまで、大都市への人やモノの集中が進んできましたが、コロナ禍により、東京一極集中や大都市の過密さがリスクや弱点として広く認識されるようになり、社会のあり方や人々の生き方、価値観に大きな変化が生じています。秋田で暮らす私たちにとって「地方で生きる」ことの価値と意義

を改めて捉え直す、大きな転機です。

静かな生活環境、身近にある豊かな自然、旬の食べ物など四季を感じる暮らし、人と人との

適度な距離感やつながり、地域の営みや歴史に根ざした文化。これらがもたらす充実した日々の営み。地方都市の日常がもたらす「心豊かな暮らし」は、私たちにとっては、まちに対する愛着の源泉であり、大都市で暮らす人々にとっては、生活の質を高め、心を満たし、新たな生きがいの発見にもつながる大きな魅力として、地方回帰のきっかけになりうるものと考えます。

同時に、「心豊かな暮らし」を実感するためには、日々の暮らしを支えるしっかりとした土台を固めることが重要です。安定した仕事や収入、安全安心、子育てしやすい環境、健康長寿、充実した公共交通、そして、「新しい日常」を支えるICTなどの先端技術。人口減少下にあっても持続可能な「社会基盤」が不可欠です。

(次のページへつづく)



憩いの空間、千秋公園のお堀

“地方で生きる”から “このまちで生きる”へ

■新たなまちづくりの基本方針 「県都『あきた』創生プラン」

「心豊かな暮らし」とそれを支える「社会基盤」。「地方で生きる」うえでは、そのバランスが大切と考えます。

地方の中核都市である本市には、適度な水準でそのバランスをとることができる長所があります。長所をいかし、市民一人一人が暮らしの豊かさを実感し、「このまちで生きる」ことに幸せと誇りを感じられるように、都市としての魅力を高めていきたいと考えています。

こうしたことを念頭に置き、本市の新たなまちづくりの基本方針となる次期秋田市総合計画（計画期間：令和3～7年度）を策定中です。

現在の計画の基本理念「ともにつくりともに生きる 人・まち・くらし」を引き継ぎつつ、人口減少・少子高齢化もとより、新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化や若者に魅力あるまちづくりを見据えた計画にしたいと考えています。計画の名称は、市民のみなさまとともに「創り、ともに「生」きるための計画」として、「県都『あきた』創生プラン」とする予定です。

計画期間内に特に力を入れる5つの分野である「創生戦略」には、少子高齢化に伴う

地域の課題解決などにつなげる

▼先端技術を活用した

地域産業の振興とことづくり

中心市街地の

さらなる活性化などに取り組み

▼芸術文化・スポーツ・観光による

都市の魅力向上

新たに

「ゼロカーボン」の推進を位置づける

▼未来につながる環境立市あきたの推進

さらなる充実が求められる

▼子どもを生き育てやすい社会づくり

▼いきいきと暮らせる

健康長寿社会づくり

を位置づけたいと考えています。

先端技術による モデル的まちづくりと 「デジタル市役所」

なかでも先端技術の活用に関しては、「スマート農業」や観光、スポーツ、環境、防災などの幅広い分野で、横断的に取り組む必要があります。とりわけ外旭川地区については、新スタジアム整備に向けた検討や、泉外旭川駅の開業、卸売市場の再整備なども見

市役所市民の座に、環境施策のPRの一環で、竿燈のお囃子屋台を設置しました



園芸振興センターに、スマート農業を活用したいちご栽培施設が完成しました

据え、モデル地区に設定することで、新しいまちづくりにつなげていきたいと考えています。こうした施策には、行政だけでなく、民間のノウハウや技術を活かすことが欠かせませんので、民間との協働で、人口減少・少子高齢化に伴う課題の解決、さらには若者にとって魅力あるまちづくりへと結びつけたいと思います。

行政サービスに関しても、市民のみならず、各種申請のオンライン化と押印の原則廃止、手数料などのオンライン決済、オンライン相談などを通じて、市役所に行かなくてもすべての手続きができる、いわゆる「デジタル市役所」の実現をめざしたいと考えています。新たな組織体制なども含め、全庁を挙げて取り組んでまいります。

■ゼロカーボン＝温室効果ガス(二酸化炭素)の排出をなくすこと

■スマート農業＝ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化などの実現を図る新たな農業のこと

明るい話題の多い一年に！



3月21日(日)にオープンする
「秋田市文化創造館」…6・7頁で特集



3月開設に向け、工事が進む「泉外旭川駅」
…8・9頁で特集



祝！ J3優勝&J2昇格！

サッカーJ3優勝報告に訪れたブラウブリッツ秋田のみなさんと

時代の

大きな転換点にあたって

「大転換のとき、希望を持って、覚悟を決めよ」。2009年に、私が最初に市長選に立候補したときのキャッチフレーズです。その前年「リーマン・ショック」に端を発した経済危機の波が、ここ秋田にも達し、地域経済と雇用は非常に厳しい状況になりました。そうした中で、危機に立ちすくむのではなく、これをチャンスに変える転換点と捉えた、私なりの決意でした。

それから約12年。リーマン・ショックでは「カネ」の動きが止まりましたが、コロナ禍では「ヒト」と「モノ」の動きが止まり、私たちの生活はより直接的に打撃を受けました。いま私たちが直面しているのは、「誰も正解が分からない中でどう対処すべきか」という問題であるように思います。

苦悩の中、「不要不急なものとして挙げられた、例えば、旅行やスポーツ、文化、芸術、レジャー、会食などから、私たちが心のゆとりや豊かさなど、どれほど大きな恩恵を受けてきたか思い知らされました。また、「個人の自由」と「公共の福祉」の兼ね合いは、簡単に答えを出せない大きな命題であり、私たち一人一人が真剣に考え

ていく必要があると感じています。

私の座右の銘は「日々初心」です。

市長就任時の初心に照らし、今、さらなる「大転換のとき」にあつて、「希望を持ち」「覚悟を決め」、前へと進む必要がありますが、同時に、「答えを出せない問い」を率直に受け止め、向き合っていきたいと思います。

◆ 昨年、私も県民の一人として、大変うれしく思うニュースがありました。

9月、秋田県出身で初となる菅義偉首相が誕生しました。就任の際、「地方を大切にしたい」と述べたとおり、都市と地方の実情を知る菅首相のリーダーシップのもと、一つ一つの政策を着実に実行されるものと期待しています。

そして、サッカー・ブラウブリッツ秋田が、J3優勝とJ2昇格を決めました。開幕からリーグの無敗記録を更新しながら首位を独走する快進撃は、市民に大きな元気を与えてくれました。来シーズンからは、よりレベルの高いJ2を戦い抜き、市民・県民に一層愛されるチームとして、さらなる飛躍を期待しています。

たくさんの明るいニュースが生まれる年にしたいです。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

秋田市文化創造館 誕生！

未来に向け、新しい価値を生み出す

3/21日
待望の
オープニング！

千秋公園の入口に位置する旧秋田県立美術館の建物。図書館や美術館などが集中する中心市街地のお堀のそばで、約50年の時を刻んでいます。日本宮殿流れ屋根式とも称される伝統的形式に西洋建築の特徴を加えた建物は、1967(昭和42)年に「秋田県立美術館・平野政吉美術館」として開館しました。文化活動を発表する美術ホールとして、また、藤田嗣治の壁画《秋田の行事》をはじめとした平野政吉コレクションを楽しむ美術館として、2013(平成25)年にエリアなかいちに移転するまで、長年多くの人に愛されました。そしてこのたび、建物の改修工事を経て、おなじみの丸窓の特徴的な屋根はそのままに「秋田市文化創造館」として生まれ変わろうとしています！



熱演中の3人

プレ事業に参加しました！

学生も楽しめるイベントを
やってみよう！



根田紗那さん

棚木陽菜さん

佐々木千来さん

普段遊びで演技をしているので、「面白そうだ」と思い、プレ事業「ダイアリーシアター」に参加しました。初めての演劇は難しかったあ…でも私たちの日常を切り取った高校生らしいものが完成して楽しかったです。文化創造館で開催されたら楽しそうだと思うのは、例えば「インスタ映えスポット巡り」とか、私たち学生も参加しやすいイベントですね。それと、いま学校で学んでいる伝統工芸についての講座などを通して、他校生と交流などもしてみたいです！

「出会い、つくり、はじめる場」文化創造館でできること

こ れまで「乾杯ノ練習」と題し、文化創造館の開館（「乾杯」）に先駆け、新しい知識視点を会出イベントや、創造力の発揮を支援するプロジェクトなどをプレ事業として展開してきました。

3月の開館は、「文化創造のまちの実現に向けたスタート」です。同館を拠点に、市民のみなさんによる活動や、人と人とのつながりが、さらに生まれるきっかけになることを目指します。

開館後、みなさんが実現してみたい活動のアイデアも1月4日(月)まで募集中！採用された団体は、同館から支援を受けることができます。詳しくはホームページをご覧ください。

◆広報ID番号 1026645
問い合わせ

企画調整課 ☎(0888)5462

【秋田市文化創造館】

住所 千秋明徳町3番16号

開館時間 午前9時～午後9時

休館日 火曜、

年末年始



1階 コミュニティスペース



2階 スタジオA1

施設の おもな 内容と利用例

こんな風に使えます！

- ダンスや演劇、音楽などの活動発表
- 作品制作・展示 ■展覧会 ■トークイベント
- セミナー ■ワークショップ ■シンポジウム
- 講演会 ■マルシェ ■クラフト市 ■キッチンカー



- 【1階】コミュニティスペース(市民活動スペース)
*ショップやカフェなどもあります。
- 【2階】スタジオA1、スタジオA2、スタジオB
- 【3階】スタジオA3

2月下旬から利用予約の受付開始！
...9月頃まで一部利用制限があります



2階 スタジオB



3階 スタジオA3



2階 ホール



ウッドデッキ



秋山卓登さん

みんなの好きなことが
合わさった空間に
なっていきたい！

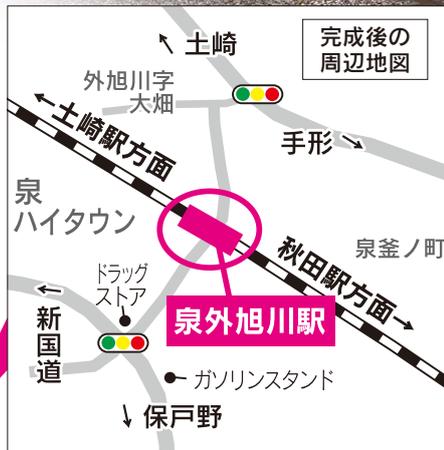
文化創造館は、写真や動画のコンテンツを作ったり、普段何気なく通り過ぎる景色の歴史の紹介をしたり、いろいろな人の好きなことが合わさって、ステキなモノが生まれる空間であってほしいと思うし、自分もその一人でありたいなと思います。

プレ事業に参加したことで、その人によっていろいろな視点があることを知ることができ、気の合う仲間も増えました。文化創造館でも新たな仲間に出会えるとうれしくです。

■プレ事業は一昨年から始まり、トークイベントやまちあるきツアー、開館後に実現したい企画を考えるワークショップなどを行いました。「ダイアリーシアター」は、参加者のアイデアから生まれた企画で、日常の「コマ」を台本にして演じてみるイベントでした。

3月
いよいよ
出発進行!

秋田駅〜土崎駅間に新駅誕生! 泉外旭川駅



泉側の駅前広場イメージ図

工事中の新駅のホームに試運転中の電車が停車していました



ロータリーに建設中のホームへつながる自由通路入口となる建物(泉側)



秋田

羽後牛島

四ツ小屋

和田

大張野

- ★この3月、県内JRの駅としては20年ぶりに、秋田市に新駅「泉外旭川駅」が誕生します!
- ★現在の秋田駅〜土崎駅間は7.1kmと駅間距離が長く、鉄道が利用しにくい状況でした。そこで、泉地区と外旭川地区の間に新駅を設置し、鉄道とさまざまな交通手段の接続が行われる場所として整備することで、学生や高齢のかただけではなく広い世代に公共交通を利用しやすい環境を整えることとしました。
- ★泉外旭川駅の開業により、秋田駅まで4分、土崎駅まで3分と、周辺地区のみなさんが公共交通を利用しやすくなることで、中心市街地などへの新たな人の流れが期待されます。
- ★新駅は、駅員が常駐しない無人駅ですが自動券売機が設置されます。待合室やホームには、両地区を結ぶ自由通路から入ります。

問い合わせ▶交通政策課☎(888)5766

赤れんが郷土館企画展

郷土玩具と人形展

1月23日(土)▶4月18日(日)

開館時間▶9:30~16:30

*展示替えのため、1月18日(月)から22日(金)まで休館します。

会期

会場

赤れんが郷土館2階企画展示室

入館料

一般210円／高校生以下無料

全国各地にあるさまざまな郷土玩具や人形。それらはすべて、地域の伝統、風俗、生活習慣、信仰などを反映して生まれ育っており、その素朴さから根強い人気を得ています。今回の企画展では、東北地方をはじめ各地の郷土玩具や人形、約150点を地域やテーマ別に展示し、それぞれの特色やルーツを紹介します。

【問い合わせ】赤れんが郷土館 ☎(864)6851

*新型コロナウイルスの影響により、中止・変更になる場合があります。

名称と地域=①仙台張子・宮城県/②木彫りの秋田犬・秋田県/③赤べこ・福島県/④鯨の汐吹き・長崎県/⑤長崎人形オランダ万才・長崎県/⑥こま・不明/⑦飛騨のさるぼほ・岐阜県/⑧今戸焼・東京都/⑨シヨロシヨロ狐・鳥取県/⑩富山鯛抱き・富山県/⑪ふく笛・山口県/⑫三春張子・福島県

